



平成18年3月8日

各 位

会社名 株式会社 ナ ナ オ
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号6737 東証第1部)
問合せ先 総務部長 出南 一彦
(TEL. 076-275-4121)

平成18年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年11月8日の中間決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期連結業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	93,500	13,500	8,200
今回修正予想(B)	85,000	11,400	7,000
増減額(B-A)	-8,500	-2,100	-1,200
増減率(%) (B-A)/A	-9.1	-15.6	-14.6
前年実績(平成17年3月期)(C)	91,094	10,348	6,411
前年比(%) (B)/(C)	93.3	110.2	109.2

2. 平成18年3月期単独業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	91,000	13,200	8,100
今回修正予想(B)	82,000	11,100	6,900
増減額(B-A)	-9,000	-2,100	-1,200
増減率(%) (B-A)/A	-9.9	-15.9	-14.8
前年実績(平成17年3月期)(C)	88,642	10,036	6,285
前年比(%) (B)/(C)	92.5	110.6	109.8

3. 修正理由

当下半期におけるコンピュータ用モニターの売上高は国内市場を中心に堅調に推移しましたが、アミューズメント用モニターは第4四半期に予定していた新機種の世界投入が次期にずれこむ見込みとなりました。一方、経費面では広告宣伝費等を先行投資した結果、予想に対して増加する見込みとなりました。

この結果、平成18年3月期の売上高、経常利益及び当期純利益は連結・単独ともに前回(平成17年11月8日)の業績予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより予想と乖離する結果になりうることをご承知おき下さい。

以 上